



第56期上半期終了

今年も6月に入り、第56期の上期を終えて下期のスタートとなりました。5月は連休もありましたが、比較的晴れの日が多い月となりました。定期的な雨の日もありましたが、全体的に気温は高く暑さを感じる日も多くありました。6月は梅雨時期に入り蒸し暑い日も出てくると思いますが、体調には十分気を付けて頂けたらと思います。

第56期上期ですが、社員の皆様にはご協力頂きありがとうございました。業務内容の変動がある中、いろいろとご尽力を賜り、売上は計画未達となりましたが収益の方は確保の見通しとなりました。上期は下期や来期を見据えて体制の見直しを図っており、その効果は今後の仕事量を増やしていく事で見えてくることと感じております。下期は新たな業務を行う事も出てくるかと思いますが、新たな展開を取り組む事でさらなる成長となるよう進んで参りたいと思います。

仕事量の変動があっても安定した企業運営を行えるよう取り組んで参りたいと思いますので、下期も引き続きのご協力をよろしくお願いいたします。

それでは、今月も1ヶ月間よろしくお願いいたします。

社長 太田 聡

編集担当：島

江戸と駿府 ～徳川家康～

先月号のあらすじ

～1600年 家康は関ヶ原の戦いに勝利し、戦国大名から天下人へ台頭した～

1603年 江戸幕府を開く

家康はなぜ関東の中で江戸を選んだのか。理由は平野(関東平野)、海(東京湾)、大きな川(利根川)の3つを江戸が備えていたからです。海、川があることで敵が攻めづらい地形である事、船を使って全国各地から商品を輸送することができ、都市として必要な物流を大きく活性化させることができるとして江戸を選びました。水路を巡らせ、陸上交通など様々な整備を行い、江戸は数十万人の大都市に発展した。今もなお東京は世界有数の大都市として成長を続けてることから家康は発展性を見抜く力があつたと言えます。

1605年 駿府へ隠居

天下人となった家康だったが、わずか2年にして將軍職を辞し、子の秀忠に將軍職と江戸城を譲る。家康は駿府に隠居することに。駿府は家康が今川氏の人質として幼少期を過ごし、駿河・遠江・三河・甲斐・信濃の5カ国の太守となった時に本拠とした場所。なぜわずか2年で譲渡、

隠居したのか。家康が秀忠に征夷大將軍職を譲ったという事は【政権を世襲する】ことを公言したに等しい。つまり【豊臣秀頼に政権を返上しない】という意思表示でもある。家康はいずれ、豊臣家と一戦を交えることを見越し、江戸を攻められる事になった場合には駿府城で防戦しようと考えていたのだった。また、本能寺の変の二の舞にならないように江戸と駿府と分けることで万一自身が謀反で討たれても秀忠が生き残る様に、江戸を出る事を選んだとも考えられます。勿論、豊臣家は政権を返上しない家康に激怒、両家の対立は続きます。その後家康は駿府城を大改修、駿府を大きく発展させます。

1614年 大阪 冬の陣

とうとう戦へ発展します。約20万の徳川軍に対し、豊臣軍は関ヶ原の戦いや改易などで浪人となった旧豊臣家臣など約10万で対抗。豊臣軍を順調に撃破していた徳川軍ですが、大坂城に籠城する豊臣軍を攻め切れません。更に大坂城の出城で真田幸村率いる「真田丸」が徳川軍を苦しめます。(どうする家康)

編集担当：横井

編集担当より

「定額減税」が6月にスタートします。所得により対象者の制限はありますが、1人あたり所得税3万円&住民税1万円の計4万円が差し引かれるので、扶養家族分も減税されるので、4人家族の場合は4万円×4人で合わせて16万円の減税になります。

5月21日、今回の所得税の減税額は給与明細に明記することを国が企業に義務付けることが明らかになりました。手取り額が増えたことを実感してもらい狙いがあるようですが、各企業は対応する必要があり、事務負担が増す懸念があります。

率直なご意見・ご感想をお待ちしております。
general@apollo-elec.co.jp

発行



アポロ電気株式会社

〒438-0004

静岡県磐田市匂坂中1600-11 磐田さぎさか工業団地

TEL：0538-38-2228

FAX：0538-38-2898

URL：https://www.apollo-elec.co.jp

編集担当：管理室

発行日：令和6年6月1日